

平成12年度気象庁概算要求概要

総63-2

(単位：百万円)

事 項	11年度 予 算 額	12年度 要 求 額	備 考
. 一般会計	62,859	66,728	対前年度比 106.2%
1. 物件費	22,151	25,505	
(1) 重要事項	2,792	7,268	
台風・豪雨等観測予報業務の強化	2,395	4,601	
静止気象衛星(運輸多目的衛星)の整備	2,189	1,256	平成16年度打上げ予定。 5年計画の2年度目。
気象資料総合処理システムの改良更新	26	311	本庁。2年計画の2年度目。
気象資料伝送網の改良更新等	180	233	大阪管内。
集中豪雨等監視・予測業務の高度化	0	2,801	
・局地的気象監視システムの整備	0	2,567	監視センター；本庁。 観測点；全国24ヶ所。
・貯雨量解析システムの整備	0	234	全国11ヶ所の気象台。
地震・火山対策の強化	261	277	
地震調査観測データ収集一元化システムの強化	187	200	札幌及び仙台管内。
地震津波監視システムの改良更新	38	39	福岡。
ナウキャスト地震情報(地震発生直後の即時的情報)提供の実用化調査	9	10	
活火山観測体制の強化	27	28	浅間山、磐梯山。
気候変動・地球環境対策の強化	136	2,390	
海洋気象観測船の建造等	136	1,986	啓風丸。 3年計画の3年度目。
地球規模の高度海洋監視システムによる気候予知			
・次世代型高度海洋監視システムの構築	0	404	
(2) その他の事項	19,359	18,237	
2. 人件費	40,708	41,223	
. 空港整備特別会計	12,840	12,617	対前年度比 98.3%
計	75,699	79,345	

〔気象行政の推進〕

台風や集中豪雨等の気象現象を迅速かつ的確に把握し、大雨警報等の気象情報の充実・高度化を図るため、次期静止気象衛星（運輸多目的衛星）、気象資料総合処理システム等の整備を推進するとともに、上空の新しい風観測網（いわば「上空のアメダス」）等を構築する。

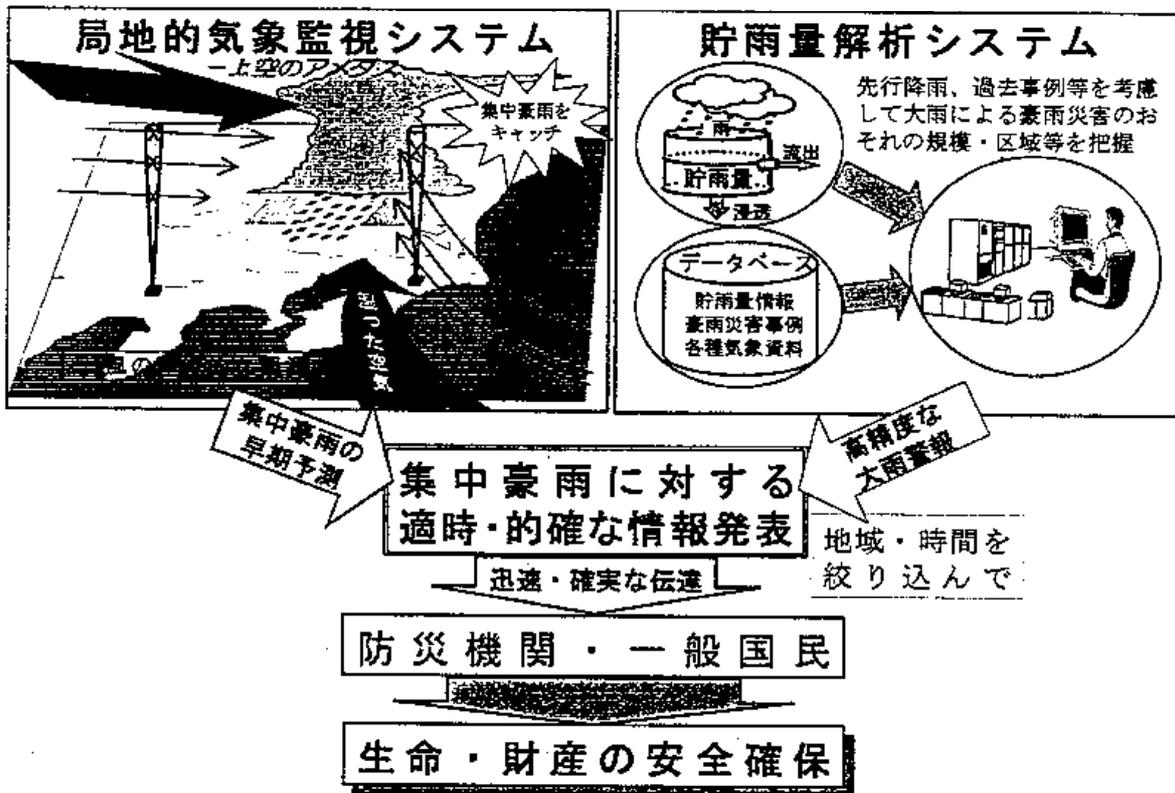
（前年度予算）

百万円 百万円
4,601 (2,395)

台風・豪雨等観測予報業務の強化

- ・ 静止気象衛星（運輸多目的衛星）の整備
- ・ 気象資料総合処理システムの改良更新
- ・ 気象資料伝送網の改良更新等
- ・ 集中豪雨等監視・予測業務の高度化
 - 局地的気象監視システムの整備
 - 貯雨量解析システムの整備

集中豪雨等監視・予測業務の高度化

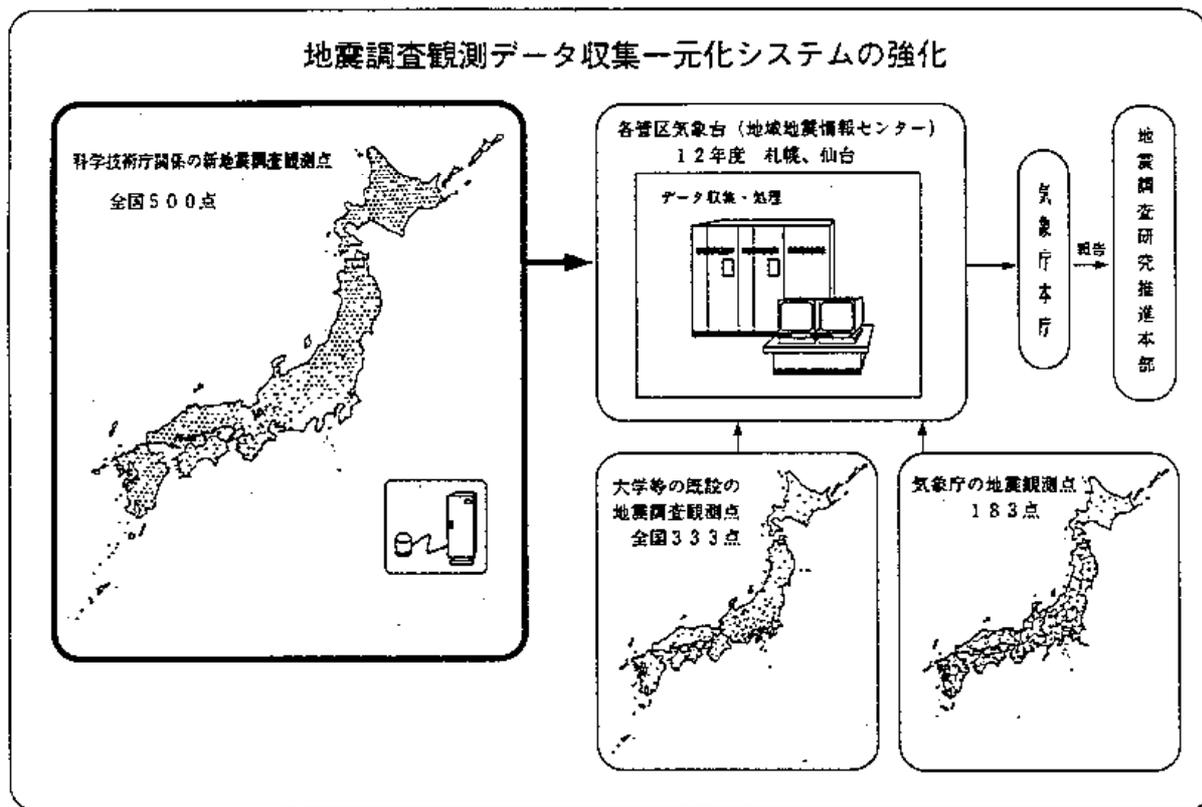


地震・津波に関する的確な防災情報を提供するため、他機関の地震データ収集体制の強化、地震津波監視システムの改良更新等を推進する。また、活火山の観測体制を強化するため、火山観測施設を整備する。

百万円 百万円
277 (261)

地震・火山対策の強化

- ・地震調査観測データ収集一元化システムの強化
- ・地震津波監視システムの改良更新
- ・ナウキャスト地震情報（地震発生直後の即時的情報）提供の実用化調査
- ・活火山観測体制の強化



地球温暖化などの気候変動・地球環境対策を強化するため、海洋気象観測船の代替建造を行うとともに、新型海洋観測測器を活用した総合的な海洋監視システムを構築する。

気候変動・地球環境対策の強化

- ・海洋気象観測船の建造等
- ・地球規模の高度海洋監視システムによる気候予知
- 次世代型高度海洋監視システムの構築

百万円
2,390

百万円
(136)

次世代型高度海洋監視システムの構築

